

〈ふるさと食卓〉

みんな「食べて」大きくなった

202

和歌山大学
食農総合研究教育センター 客員教授
湯崎 真梨子

土地から生まれた地元食。地域に百の家庭があれば百の食があり、私たちは何を食べて大きくなったのでしょうか。ブランド化した食ではなく、土地から生まれた食材に育てられた子どもの頃のふるさとの食卓の思い出を添えて家庭のレシピを紹介します。

さざえ

かごにどつさり取れた

日本海に浮かぶ島根県隠岐島は、後鳥羽上皇や後醍醐天皇が流された島として知られているが、流刑地のイメージとは違い、紺碧の海と空と高原が広がる美しい島々だった。

隠岐は「貝の王国」と呼ばれている。貝のエサとなる海藻や岩礁に恵まれているため、さざえは隠岐海鮮の代表格だ。7月〜9月の夏場が旬で、ご当地グルメのさざえ丼やつぼ焼きをいただきながら、ふるさと和歌山の遠い日の食卓、家族で囲んだつぼ焼きの香ばしい大人の味を思い出した。ぶくぶくと吹き上がる出汁と醤油が焼ける香り、ワタの苦さ。その後何度食べても子どもの舌が味わった記憶は、さざえの原風景として染みついていてから不思議だ。さざえの角のあるなしは日本海側産、太平洋側産の違いなどの説があるが、産地



と形状に関連はなく、波の荒さなど生育環境や遺伝的要因が関係しているのでは、と考えられている。
紀伊半島尾鷲で子どもだった人の記憶にもさざえが登場する。「干潮の時、夜ご飯を食べてから家族で夜磯に行った。海に

カーバイドの青白い光がたくさん灯っていた。70年代前半の思い出だ。「さざえは岩に張り付いているのをドライバーで子どもの手でも取れた。小さいのは取るな」と親に言われた。「さざえがどつさり取れて、母が佃煮にしていたほど」と言う。豊かな海の恵みにすり込まれた子どもの記憶だ。

昔、海賊の本拠地だった熊野灘あたり、紀州の波切には妖怪「栄螺鬼」の伝説がある。海で溺れていた美女を海賊が下心を持つて助け、皆で女に乱暴をしたが、実は女は栄螺鬼の化身で海賊たちの睾丸を食いちぎってしまったという話。似たような話は千葉の房総半島にもあり、この残酷な話は何の隠喩だろうか。以前当紙で「怪しの熊野」を連載していた友人の中島氏によると、「美しい異性に容易に近づくのは危険」という教訓とか。しかしなぜさざえ？

さざえは昼間は岩陰や大きいものは深いところで静かにしているが夜になると這い出て岩礁を動き回り海藻を削り取って食べるというその生命力のたとえだろうか。ゴツゴツと硬い殻と蓋を持ちながら身と内臓の先まで磯の香りとうまみを持つ怪しくも魅力的な造形のせいだろうか。
そのさざえなど磯根（沿岸域の岩礁帯）資源がとれなくなった。原因にはエサの海藻が減る磯焼けなど環境悪化が考えられている。黒潮の蛇行や温暖化などさまざま

に言われるが、「海の透明度が下がっているなあ」と同僚の環境学者は海を見るたびに言う。海への土砂流入などで海水が濁ると光が不足し海藻の光合成が不活発になり海藻が減り貝も減る、という図式だ。

和歌山県のさざえの漁獲量は1972年には422ト。50年後の2022年には4トと激減。貝の王国、島根県は和歌山の百倍のさざえ漁獲量だが、やはり減少傾向が続いている。さざえの語源のひとつは「小家」。小さなお家で生きるさざえにも陸の森から海への環境異変の危機がひたひたと迫っている。

■湯崎真梨子(ゆざき・まりこ)
和歌山大学
食農総合研究教育センター 客員教授
【プロフィール】
博士(学術)。大阪府立大学大学院人間文化学
研究科博士後期課程終了。元和歌山大学教授。
専門は農村社会学、地域再生学。内発的発展、食
料経済、地域資源、地産地消、脱炭素社会などが
テーマ。自らの研究に加え、地域と協働するプロ
ジェクト研究もマネジ
メントしている。熊野方
面には年間30〜50日は
訪問し研究する。

隠岐島の海岸美



さざえのつぼ焼き
うまみと香ばしさが吹き上がる
さざえ定番のおいしさ

《材料》▽さざえ▽酒、
醤油、バターは好みで
《作り方》
■魚焼きグリルで焼く
①表面についた汚れや
海藻を洗い、貝の中
の水(塩水)もよく切
る。網の上に並べる。
②さざえの蓋を上にし、
つぼの中に酒を1個
につき大きじ1ずつ
注ぎ入れ中火で焼く。
③グツグツして3分ほ
ど経つと醤油を小さ
じ1ほど加え、さら
に2分ほどグツグツ
させてできあがり。
好みでバターを乗せ
て焼いてもおいしい。
*焼く時間は大きさによるが、全部で5〜
7分くらいが目安。焼きすぎるとかたくなる
ので注意。



醤油やバターで焼いてもおいしい



隠岐島の産地グルメさ
ざえ丼。さざえを殻ごとゆ
で沸騰したら身を取り出し
調理する。さざえのエキス
を卵でとっていたく

■次回10月26日(土)付掲載予定
さざえや魚介を豪快に焼
いて楽しむ(那智勝浦町
宇久井漁港近く)

